

平成29年度 第3回 COC 実施本部会議 議事録

平成29年7月12日(水)

16:37~17:18

場所:本部大会議室

出席者:清水学長、齋藤教育開発センター長、橋本学生部長、大島研究開発推進センター長、西谷事務局長、木村企画部長、森地域連携推進担当課長、山村学生支援部長、中井教務担当課長

【議題】

1. 第3回本事業取組内容公表シンポジウムの準備状況について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

平成29年9月10日(日) 13:30~16:30 皇學館大学 記念館

I部 13:30 セレモニー・・・清水学長ご挨拶、COC概要・進捗説明

II部 14:00 シンポジウム(フューチャーセッション)

III部 16:00 パネル交流会・・・CLL活動紹介

セレモニーの後、話し手を取り囲む形を作り、登壇者やコメンテーターらと答えを共有しながら進行する。16:30 終了予定。

今年度は、CLL活動参加学生あるいは圏域市町出身の本学学生をメインとし登壇させる。

審議の結果、異議なく了解された。

2. 平成29年度 CLL活動について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

●新規、継続CLL活動

- ・(新規) 二見工房そみん自主製品販売戦略

主催者:二見工房そみん、ほか 担当教員:山路教授

学生に求めること:自主製品の販売向上と新デザインの考案

- ・(新規) 伊勢市地域福祉計画・活動計画に関するリサーチ及びコミュニケーション

主催者:伊勢市社会福祉協議会 担当教員:山路教授

学生に求めること:地域活動の場において、参加者や活動者の状況調査

- ・(継続) 玉城産豚ブランド化プロジェクト

主催者:玉城町 担当教員:池山助教

学生に求めること:玉城産豚を使った新メニューの開発

- ・(継続) あばばい~伊勢志摩国立公園 学生部会~

学生に求めること:伊勢志摩国立公園保全の企画立案

主催者:三重県農林水産部 担当教員:板井准教授

●新規参加学生(学校行事参加者)追加(別添にて一覧表)

活動数は25活動、参加人数は延べ207名(平成29年7月10日時点)

今年度のCLL活動の目標数は、25活動であるので、達成したといえる。

審議の結果、異議なく了解された。

3. 平成30年度「履修証明プログラム」の科目構成（案）について①

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

※開講学期加筆

科目名	開講学期	単位	担当者（敬称略）	備考
伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ	春	2	オムニバス	共通科目
伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅱ	秋	2	オムニバス	共通科目
伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅲ	秋	2	オムニバス	共通科目
伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅳ	春	2	オムニバス	共通科目
グローバル化と地域の経済社会	春	2	オムニバス	共通科目
地方自治論	春	2	富永 健	現代日本社会学科
地域再生論	春	2	岸川 政之	現代日本社会学科
公共政策論	秋	2	岸川 政之	現代日本社会学科
雇用政策	秋	1	笠原 正嗣	現代日本社会学科
地域社会論	秋	2	筒井 琢磨	現代日本社会学科

現代日本社会学部に、これらの履修証明プログラムの科目構成を組み込んでよいか照会をしたところ、富永教授から承諾を得た。

<質疑応答>

（問）「履修証明プログラム」の名称はいかがするか？

（答）よく考え、お諮りする。

審議の結果、異議なく了解された。

4. その他

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

COC+関連として

・自然環境リテラシー学アウトドア実習

三重大大学の生物資源学部が、アウトドアと座学を組み合わせ自然環境についての基礎的な知識と技能を学ぶ実習。坂本教授と予てから親交のある近藤准教授に担当教員と位置づける。COC圏域ではないためCOC事業としては位置付けられない。募集は行うが自主参加。単位は与えられない。申込み者が固まり次第、会議にお諮りする。

<質疑応答>

（問）申込みがあった場合、保険はいかがか？

（答）科目ではないが学校行事とお認めいただければ「学研災」が適用される。

シーカヤックは保険適用の対象である。

審議の結果、異議なく了解された。

【報 告】

1. 平成29年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅰ・Ⅳと「伊勢志摩共生学実習（地域インターンシップ）」A～Dの学修成果評価アンケート実施について
清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

- ・科目Ⅰ：7月19日（水）3講時に実施
- ・科目Ⅳ：7月21日（金）4講時に実施
- ・実習については、各終了時に実施

2. 平成29年度自己点検・評価および外部評価委員会について
清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

外部評価委員方々から肯定的な評価であった。主なご意見として以下のとおりである。

- ・行政チャンネルを使い授業内容の番組を制作し公開するということであるが、どのくらいの視聴率を目標とするのか？との問いに対し、行政チャンネルが視聴率の調査をしていないので難しいと回答。
- ・受託研究として補助金期間終了後自治体とのコストシェアはいかがか？との問いに対し、運転資金を今回の売上金で担保し進めていくと回答。
- ・三重創生ファンタジスタというコンソーシアムの資格について現状は？との問いに対し、現時点では固まっておらず、ベーシックの称号を発行できるように進めているところだと回答。

3. 平成30年度 課題発見・解決型人材選考入学準備プログラム
清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

今年度始まるA0入試の中の「課題発見・解決型人材選考」は、その入学準備プログラムを、全学部学科の合格者に対して受講させるというものである。各学科の入学準備プログラムに加えて提出させることとし、1活動行ってその振り返りレポートにまとめさせる課題とした。

既に教務委員会の承認を得ており、COCで全てまとめて対応する。

（添付資料の文章訂正）

【内容】5行目

（修正前）活動は在住する市区町村の社会福祉協議会ボランティアセンターや市民活動センターなどに問合わせて興味・関心のあるものに参加する。

（修正後）※活動について不明な場合は、在住する市区町村の社会福祉協議会ボランティアセンターや市民活動センターなどに問合わせる。と、⑥の後に加筆し修正する。

教務委員会を文書開催する。

4. その他

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より報告がなされた。

- ・平成 29 年度 三重大学・皇學館大学合同シンポジウム

本学が主催で、岡野文学部長が中心となる。

- ・COC+「地方創生人材データベース」調査に関して

- ・COC+シンポジウム

~~平成 29 年 12 月 10 日 (日)~~平成 29 年 11 月 26 日 (日) 三重大学にて (準備中)

- ・全国まちづくりカレッジ (準備中) 平成 30 年 2 月 26 日 (月)

筒井教授が中心となる。

平成 29 年度 第 4 回 COC 実施本部会議は、平成 29 年 9 月 20 日 (水) に本部大会議室で開催されることが確認された。